

大船渡発

ころ柿の玉すだれ



大船渡市にある三陸駅のホームに、3年ぶりに季節の風物詩「干し柿の玉すだれ」が復活し、鉄道利用者の目を楽しませています。海を臨むホームでオレンジ色に輝くのは特産のころ柿です。三陸駅では「ころ柿」をPRするため地元の生産者たちが15年ほど前からころ柿の玉すだれを駅に吊るしていました。3年ぶりに復活した今年の玉すだれには近くの小学生たちが三陸鉄道へ贈る激励のメッセージも付けられています。ころ柿の玉すだれは1ヶ月ほど吊るされ、潮風を受けて甘くなった干し柿は駅の利用者などに配る予定です。

(11/20 ニュースエコー)

横浜・瀬谷区発

瀬谷丸水揚げの鮮魚販売

横浜市・瀬谷区住民の募金などで建造された、大槌町の漁船「瀬谷丸」が水揚げした鮮魚の販売が、横浜市瀬谷区にあるスーパー「そうてつローゼン」で始まりました。募金活動のリーダー露木晴雄さんが、スーパーに魚の取り扱いを働きかけ実現したものです。食品売り場には特設コーナーが設けられ「瀬谷丸」が水揚げした鮮魚がズラリ。鮭やイカにサバ、イナダなど合わせて12種類、約400キロが店頭並びました。売り場には、大槌の鮮魚を買い求める多くの瀬谷区民が押寄せ、行列ができるほどの盛況でした。今後、定置網漁を休む時期には養殖ワカメやホタテなどを販売予定で、お店では年間を通して瀬谷丸ブランドの魚を売り出していく方針です。(11/21 ニュースエコー)



大槌発

大槌第2トンネル工事開始



沿岸被災地の交通の大動脈となる三陸沿岸道路のうち、大槌町の吉里吉里・大槌間をつなぐ釜石山田道路の仮称・大槌第2トンネルの掘削工事が始まりました。トンネルの全長は2キロ余りで釜石山田道路で整備される10本のうち、最も長いトンネルです。掘削工事ではおよそ30万立方メートルの土砂が発生する見込みですが、国土交通省は被災市町村と協議し、この土砂を土地のかさ上げなど今後の街づくりに役立てたいとしています。

(11/22 ニュースエコー)

宮古発

鮭・あわびまつり

宮古市田老の冬の味覚、鮭とあわびを存分に楽しんでもらおうと、「鮭・あわびまつり」がことしも開かれ大勢の人で賑わいました。特に、会場を盛り上げたのは震災後に休止し、今回再開した鮭のつかみどり。



制限時間は2分で、参加者は卵を持つメス鮭や大きい鮭に狙いを定めて飛びつき、水槽の中を激しく泳ぎ回る鮭と格闘する姿に観客からは声援が送られていました。

(10/24 ニュース)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、先日「奇跡の一本松」の近くで営業を開始した「八木澤商店・一本松店」から、中継で伝えてくれました。お店は一本松を見に来た人達のお休みどころとしての「喫茶店」での開業ですが、八木澤商店の醤油の他、ケーキやソフトクリーム、Tシャツなどのお土産品も置いてあります。お客さんから震災の事を聞かれた時には、津波で流された街の事や、命の大切さを話しているということです。(11/27)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122